

## 米国出張報告（7月22日～25日）

（7月22日）

### （1）連邦緊急事態管理庁（FEMA）との会談

同庁のMichael Casey 部長へ表敬を行うとともに、原子力防災計画の策定や米国における審査の方法について伺った。加えて福島第一原子力発電所事故の対応事例をもとに、風評被害、リスクコミュニケーションにおける課題について意見交換を行った。



### （2）米国原子力規制委員会（NRC）委員との会談

本年3月に御訪日されたNRC バーンズ前委員が退官されたことを受け、継続した関係構築のためにAnnie Caputo 委員へ表敬を行った。福島第一原子力発電所事故の対応事例をもとに、風評被害、リスクコミュニケーションにおける課題や、本年1月に米国にて成立した原子力エネルギー革新・近代化法による新型炉の予測可能で効率的な審査の考え方について意見交換を行った。



（7月23日）

### （3）米国エネルギー省国家核安全保障局高官との会談

直前に米国で行われた日米核セキュリティワーキンググループ大巡回会合で議長を務められた同局のDavid Huizenga 副長官代行へ表敬を行った。福島第一原子力発電所事故の対応事例をもとに、風評被害、リスクコミュニケーションにおける課題について意見交換を行うとともに、米国における放射性物質が関係した事故における専門家派遣や広報体制について意見交換を行った。



(7月24日)

#### (4) インディアンポイント原子力発電所への周辺視察

ニューヨーク市という人口密集地域から約 40 kmと至近距離にある同発電所について、その緊急時避難計画が FEMA において承認されていることから、近隣・周辺の居住状況や道路などのインフラ、緊急時計画区域 (EPZ) の具体的な避難経路や一時退避施設の視察を行った。

